

ヴァーツラート植物園

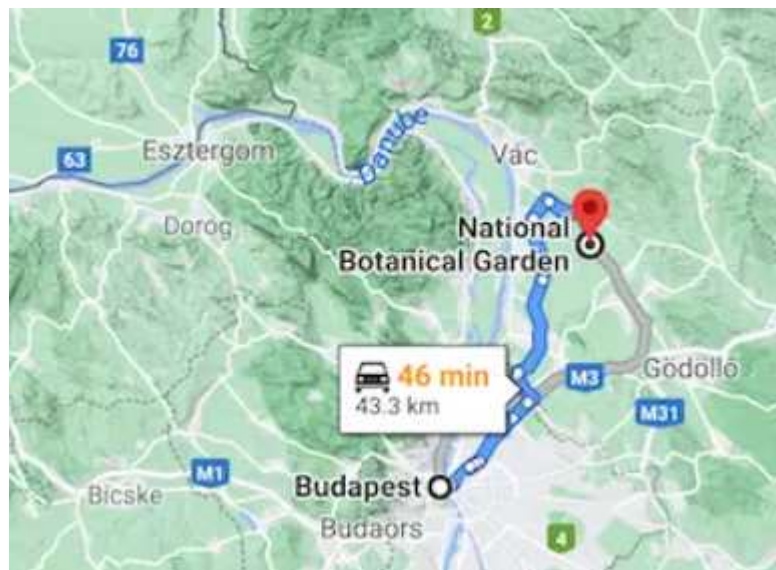
基本情報

地名:

ブダペストから45分のところにあるヴァーツラートの植物園は、ハンガリーで最大の27ヘクタールの植物園です。植物や花が豊富な公園で、温室もあります。ここには13,000種類の植物があります

:

木本植物（3300本の木と低木）、90の植物科、約2500の花を持つ植物種があります。



営業と入場料:

植物園は、3月中旬から10月末まで毎日開園しています。冬の間は庭とすべての施設が閉鎖されます。入場チケットや年間パスを買うことができます。子供と高齢者は割引料金があります。

観光シーズン: 3月 (08:00 - 17:00)

最盛期: 4月1日から10月末 (08:00 - 18:00)

閉園期間: 11月から3月中旬

大人: 2700 ~ 2200 フォリント

学生 (18歳以下): 1800 フォリント

高齢者: 1800 フォリント

地元住民、幼児、幼稚園生、学校グループの引率者: 750 フォリント

3歳未満: 無料



ヴァーツラート植物園の有名人と歴史

1786年にコラビンスキー・マーチャーシュが出版した本には、ラートートに2つの邸宅があることが書かれていました。庭園についての最初の記録は、19世紀初頭にありました。1842年の軍の地図には、現在の庭園と同じ規模が描かれています。1871年に**ヴィギャーズォ・シャーンドル**はこの土地を購入しました。彼の妻はポドマニツキー・ジュザンナでした。ウィーンに住んでいましたが、帰心の思いから帰国しました。3人の子供が生まれました。（写真にはポドマニツキー・ジュザンナとヴィギャーズォ・シャーンドルがいます。）



自然が好きで、若い頃に西ヨーロッパの有名な公園をたくさん巡めぐっていました。ラートートの城の庭園の改造には、有名な庭師ヤンボル・ヴィルモシュを起用しました。数十年の後、多額の資金をかけて時代のスタイルに合った風景式の庭園が作られました。（写真にはラートートの城があります。）



ラートート植物園の設計では、シェードラーコシ川の水を利用し、巨大な土木工事と既存の池を活用して湖沼システムを作り出しました。掘り出した土を使って、丘の斜面を作りました。必要な石は近くのナザール山から運ばれました。1890年には川のほとりに水車を建て、1904年にはスィクラーシュ湖の上に人工の滝を作りました。19世紀末には、新しい庭園スタイルであるコレクションガーデンが普及し、現



在の植物園の基盤となりました。1921年、96歳で亡くなったヴィギャーゾ・サンドルは、遺言で自分の財産と土地をハンガリー学術アカデミーに寄贈しました。（写真にはヴィギャーゾ・サンドルの葬儀があります。）



第二次世界大戦はヴァーチャトンにも壊滅的な影響を与えました。1945年の夏、数百人のロシア兵がここに駐留しており、地下壕やテントに住んでいました。戦闘が終わった後、戦後は宿無しとなり、1946年には自然科学博物館が管理を引き継ぎました。再建の過程で、200台以上のゴミや廃棄物をこの地域から撤去する必要がありました。

戦後、1952年にヴィギャーゾ・サンドルの意図が実現し、不動産はハンガリー学術アカデミーの所有となり、1952年1月1日にその中にMTA植物研究所が設立されました。短期間で、庭園は整備され、1961年5月1日には正式に一般公開されました。初年度には訪問者が6,000人だけでしたが、1970年代には年間11万～13万人が庭園を訪れ、植物学の知識を深め、リラックスするために訪れました。





└ 城跡



水車小屋

洞窟 └



ガイド付きツアー

このツアーは、生物学者、園芸家、または教育者が行います。ガイドサービスは、週のどの日でも利用できます。（月曜日は温室が閉館しています）。ツアーの予約は、遅くともツアーの1週間前までに連絡してください。

外国語でのガイドサービス：35,000フォリント/グループ

自分のペースで散歩

植物園で自分のペースで散歩を楽しむことができます。おすすめのルートがいくつかあります。「散歩ガイドブック」はこのリンクで見ることができます。

<https://botanikuskert.hu/product-category/kiadvanyok/>

1. 月の興味深い散歩（文の最後の数字は下の地図に載っている番号です）

銀杏 (ぎんなん): これは中国原産の植物です。地上で最も古来の木種の一つです。秋には葉が黄金色に変わります。銀杏は原爆をも生き抜くことができます。(6)



沼杉(ヌマスギ): これは北アメリカ原産の植物です。湿地に生息して、呼吸根を持っています。秋になると、葉が錆びた赤色に変わります。(5.)



月の興味深い散歩の地図



2. 中国の植物散歩:

この植物園では、一般的な植物コレクションガーデンよりも多くの東アジアの低木や樹木が見られます。そこに原産多くの植物がカルパチア盆地の気候条件で成功裏に育てられることに起因しています。そして、この庭の植物学者は、中国、日本、韓国の植物に関心を持っています。(15.)



*日本大使からの贈り物 (19.)



3. 植物学散歩:

薬草は人類の歴史において常に重要な役割を果たしてきました。薬草は、16世紀ルネサンス期のイタリアの大学に関係する研究を通じて、最初の近代的な植物園の基盤となりました。(13.)



4. 温室内散歩:

温室コレクションには、3つの植物温室があります。

4.1. 熱帯温室 (20.)

ここでは、空に届くようなヤシの木やインドゴムのき、バナナ、紅うちわが見られる熱帯雨林の雰囲気を楽しむことができます。

4.2. 蘭とブロメリアの温室 (22.)

蘭とブロメリアの温室では、ベゴニア、ブロメリア（例えばパイナップル）、蘭が見られます。また、食虫植物や岩場の植物も加わっていました。

4.3 仙人掌と多肉植物の温室 (22.)

ここでは、石の植物、サボテン、竜舌蘭が見られます。春から秋まで見学可能です。

4.1.写真



4.2.写真



4.3.写真



植物園の池: (23., 24)

植物園にはたくさんの池があります。秋は蓮があまり見られませんが、春と夏にはとても美しく咲きます。



庭で住んでいる動物たち: (6, 24)

植物園の植物だけでなく、動物も見ることができます。たくさんの鳥類がここに住んでいます。例えば、キツツキ、フクロウ、ツグミ、ヤマネ、リス、イタチ、カエル、カワウソなどがこの植物園に生息しています。



芸術作品: (19 ,25, 26)

そのほかにも、この植物園には多くの芸術作品が隠されています。



ボタニック・ビストロ : Botanic Bistro

住所: 2163 Vácrátót, Petőfi
Sándor tér 20. (下にある地図で)

営業時間

月曜日と火曜日: 休業

水曜日: 15:00 – 21:00

木曜日: 11:30 – 21:00

金曜日: 11:30 – 21:00

土曜日: 11:30 – 21:00

日曜日: 11:30 – 21:00

[メニュー:](#)



リブラホテル: Libra Hotel

住所:[Veresegyház, Csokonai u. 2-4, 2112](#)



一人部屋:

日曜日～木曜日: 23,000 フォリント

金曜日～土曜日: 30,000 フォリント

二人部屋:

料金 / 2名様 / 1泊

日曜日～木曜日: 30,000 フォリント

金曜日～土曜日: 30,000 フォリント

[このリンク](#)で詳しい情報が見られます。



ボタニック・ビストロの場所

ヴァーツラート植物園から400メートルの距離で、5分ぐらいの徒歩です。

①お気に入りのガイドブック

私は先輩のガイドブックの中で、特にJakab Gittaが作った「ペーチ」というガイドブックと「日本人があまり知らないブダペスト」というガイドブックが気に入りました。

ペーチガイドブックは非常に美しく編集されていて、読みやすく、読者にとって便利です。ペーチの色々な歴史的な場所があるから、ここを旅行してみたいと思っています。たくさんの有名な人物がここに住んでいました。ガイドブックによると現在も多くの有名なオリンピックアスがここ町に住んでいます。

日本人があまり知らないブダペストガイドブックはブダペストの場所でとても詳しく書きました。写真の色合いと品質が大好きです。ブダペストで育ち、このガイドブックに書かれている場所は私の好きな場所がたくさんあります。

出典:

<http://hungarynewsde.gozaru.jp/guidebook/pecs3.pdf>

<http://hungarynewsde.gozaru.jp/guidebook/NihonjingashiranaiBudapest.pdf>

②ガイドブックでどこを紹介したいですか。

私は、バーチラートイの**植物園**についてガイドブックを書きたいです。家族と一緒に何度もここに来ました。私が見た中で最も美しい場所の一つです。そこにはたくさんの植物と動物がいます。皆さんも一度はそこに行くべきだと思います。

出典:

<https://trekhunt.com/hu/article/vacratoti-arboretum/>

<https://botanikuskert.hu/seta-a-kertben/kerttortenet/>

<https://botanikuskert.hu/>

<https://welovebudapest.com/cikk/2024/09/18/etterem-dunakanyar-kirandulas-etterem-botanic-bistro-vacratot/>

<https://telex.hu/eszkombajn/2024/02/20/japan-hirosima-atombomba-fa-pafranyfenyo>

<https://librahotel.hu/>